■あすとろカルタも配布されました!

天文学と、意。アラネタリウム

www.tenpla.net

今月のお題

一家に1枚宇宙図200<u>7、完成</u>



天プラも製作に協力した「一家に1枚宇宙図2007」が、科学技術週間に配布されました。今回は製作の裏側をちょっとだけご紹介。

高梨直紘 (東大D3/天文学教育研究センター所属) 平松正顕 (東大D3/国立天文台ALMA推進室所属)

一家に1枚、宇宙への窓を

毎年4/18を含む1週間は、科学技術週間だそうです。この期間には科学技術に親しむ色々なイベントが開催されています。昨年の科学技術週間には、天プラも日本学術会議の呼びかけに応じて倉敷でサイエンスカフェを開催しました。科学技術週間に全国に配られるものとして、「一家に1枚」ポスターがあります。科学技術に関連する項目をポスターにまとめたもので、これまでには「一家に1枚関表」と「一家に1枚ヒトゲノムマップ」が世に出ています。あなたはご覧になったことありますか? これまではなんだか小さい方に向いていたのですが、やっぱり我々としては大きいほうにも目を向けてもらいたいですよね。

そこで、高梨平松と国立天文台の縣さんとで文 科省に掛け合い、今年は「宇宙図」を作ること になりました。天文学会の教材委員と国立天文 台/天プラの有志とで製作のためのメーリング リストを作ったのですが、しかしここからが大 変。幅広い天文学の、どの部分を盛り込むのか。 綺麗な写真で押すのか、それとも「読む」ポスターにするのか。7ヶ月の製作期間に飛び交ったメールの数は2200通を超え、喧々諤々の議論が繰り広げられました。飛び交うメールに食らいつくのがやっとの状態でしたが、実は自分の専門外の分野については学び考えながら議論していくという、執筆陣にとっても実り多い宇宙図製作でした。

宇宙図完成、そして…

結局、宇宙図には宇宙誕生から現在までの宇宙膨張の様子を計算に基づいて可視化した図を配し、宇宙の進化の様子と、星と生命の誕生について元素を軸に解説する方向に落ち着きました。21世紀の天文学で間違いなく最も熱い分野のひとつになるであろう、太陽系外惑星と生命探査についても触れています。ある種「掟破り」の「読む」ポスターの完成です。全国の小中高校に1枚ずつ、科学館などでの配布をあわせると20万枚の宇宙図が世に出ました。小学校にも配られますが、決して子供だけを対象にしたポスターではありません。なんせ「一家に1枚」



文科省での完成記者発表にて、慣れない正装でポスターを掲げる平松と高梨。中央はアートディレクション担当のデザイナー、小阪淳さん。(写真提供:国立天文台)

●科学技術週間●

http://stw.mext.go.jp/

●国立天文台「一家に1枚宇宙図」サイト● http://www.nao.ac.jp/study/uchuzu/

ですから。ウェブ上でpdf形式でも配布されていますので、ご家庭のトイレにでも貼って、ご家族で時間をかけてじっくりと楽しんでみてください。宇宙とあなたのつながり、きっと見えてきます。